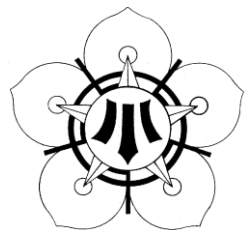


地域と家庭と学校が一つになって子供を育む…それが“チーム七小”です！



# くさぶえ

福生第七小学校ホームページ

<http://fussa-7e.hs.plala.or.jp/>

福生市立福生第七小学校

令和5年度 学校だより

発行責任者

校長 山岸 史子

所在地

福生市北田園一丁目1番地1

令和 5年9月29日 発行

## 子どもが伸びる運動会に

校長 山岸 史子

運動会の季節がやってきました。9月中にどの学年も短距離走のタイムを計測し、赤組・白組の組み分けがされ始めました。3年生以上はリレー選手、4年生以上は応援団も決めました。5・6年生は担当する係も決め、運動会に向けた準備が整いました。

休み時間などに同じ係の子ども同士が声をかけ合い、係の仕事や練習のために意気揚々と体育館や校庭などに向かう姿はかわいくもあり、頼もしくもあります。上級生が優しく教えてあげたり、下級生が真剣にその話を聞いて見習ったりしながら活動する機会は、異年齢集団だからこそその成長のチャンスです。普段の教室とは少し違った、子どもの「こうありがたい」、「こうあるべきだ」と思っている姿が表れるものです。

9月20日は草むしり集会でした。日程の都合上5年生の名栗自然教室の出発日と重なってしまい、5年生には申し訳なかったのですが、残る5つの学年で一生懸命きれいにしてくれました。1・2年生はみんながけがをしないよう校庭の走るコースやフィールド内の石拾いを担当。他の学年は見に来てくださる方が気持ちよく過ごせるよう校庭の周りの草取りをしました。運動会に来てくださる方のことを思って、校庭をきれいにしよう頑張っていてくれたなら嬉しいです。（どんなことを思っていたか、ぜひ聞いてみてください。）

毎年プログラムの挿絵は3年生が担当します。運動会を楽しみに来てくださる方に、子どもたちのわくわくしている気持ちが見える絵が今年もプログラムを飾っています。スローガンは各学級で作ったものを全校児童が投票で決めました。残念ながら期限までには全員が投票していなかったようですが、将来の参政権につながる学習の一つです。「何でもいい」も一つの意見ではありますが、自分の意思・意見を正しく届けて社会に反映させられる大人に育ってほしいと願っています。

5・6年生は、運営に関わる準備のため係活動も増えてきます。全校練習でリードしたり前日の会場の準備を行ったり、運動会当日には競技での活躍だけでなく全校のみんなのために懸命に働く姿、輝く姿も見えていただけることでしょう。

どんなことでもそうですが、自分のしたことを「認めてもらう」ことは、人を大きく成長させます。私たち大人は、子どもたちの努力を見て分かっているだけでなく、子どもにきちんとフィードバックしてあげることが重要です。認めてもらえた時の誇らしげな顔やちょっと照れくさそうな顔にたくさん出会えるようにしていきたいものです。

運動会は目標（目指すもの）を子ども自身が思い描くことができ、それに向かって主体的に努力をし、保護者・地域のみなさんにもその頑張りを認めてもらえる行事です。今年も子どもをぐんと伸ばせる運動会になるよう、皆様の応援をどうぞよろしくお願いいたします。